直撃インタビュー

プロスノーボーダー

村瀬　心椛さん（岐阜西中学校1年生）

国際大会「ワールド　ルーキー　ファイナル」
18歳以下　総合優勝　2連覇!

村瀬　由徠さん（合渡小学校5年生）

全日本スノーボード選手権大会
一般女子の部　準優勝!

姉の心椛さんは、この4月、オーストリアで開かれた国際大会で見事、総合優勝2連覇を果たし、18歳以下で「世界ナンバー1」の頂点に立ちました。

妹の由徠さんは、3月にあった全日本選手権の一般女子の部で準優勝し、表彰台にのぼりました。また、女子スノーボード史上最年少の小学4年生でプロ資格を取得しました。

これからのスノーボード界をリードする若きトップライダーとして世界から熱い注目を集めている村瀬姉妹に話を聞きました。

スノーボードを始めたきっかけは?

心椛さん：両親がスノーボードをしていて、それがきっかけで4歳の時に始めました。

由徠さん：姉と同じ4歳の時に始めました。はじめは怖くて、うまくなれるか心配でした。

スノーボードの魅力は何ですか?

心椛さん：単純に斜面を滑るだけではなく、様々な技やアイテム（障害物やジャンプ台）があって、それをクリアしていくことのおもしろさが魅力です。ジャンプをして空中を25メートル近く飛んでいるときは、気持ちがいいです。

由徠さん：はじめは怖くてできなくても、頑張るとできるようになるのが魅力です。そうして難しい技ができたときはとてもうれしくて、教えてくれた人に感謝の気持ちでいっぱいになります。

つらかったことは?そしてそれを乗り越えることができたのはなぜですか?

心椛さん：着地に失敗してけがをすることもあるのでつらいことはありますが、やめようと思ったことは一度もありません。みんなとすべるのは本当に楽しいし、達成感があるからです。それから、つらいことを乗り越えることができたのは、家族や周りの支えがあったからだと思います。両親は、私の夢の実現のためにいつも優しく支えてくれます。これからも練習に真剣に取り組んで、スノーボードを続けていくことで、その思いに応えたいです。

由徠さん：新しい技や難しい技を成功できると本当にうれしくて、また挑戦しようという気持ちになります。こうしてここまで成長できたのは、家族のおかげです。両親が動画を撮って、それをもとに助言をしてくれると、勇気が出ます。家族には、本当に感謝しています。

同じプロスノーボーダーとして、姉のこと、妹のことをどう思っていますか?

心椛さん：妹と一緒に滑ることは楽しいです。これから壁にぶつかることはたくさんあると思うので、そういうときは姉の私に聞いてほしいです。

由徠さん：いつか姉に追いついて、一番近いライバルになりたいです。

これからの夢や目標は何ですか?

心椛さん：オリンピックの金メダルです。それから、オリンピックよりも大きな国際大会「Xゲーム」に出場することです。そして、姉妹で世界をまわりたいです。

由徠さん：姉と同じで、オリンピックで金メダルをとることです。そして、世界の人たちに私たちの名前とスノーボードの楽しさを知ってほしいです。

好きな言葉があったら、教えてください。

心椛さん：名前にもある「心」です。周りの人の支えに感謝して、優しくできる「心」を大切にしたいと思うからです。

由徠さん：「思いやり」です。スノーボードに限らず、「思いやり」をもって、何事も仲間と助け合って協力していきたいからです。

二人ともそろって口にした「やめようと思ったことは一度もありません」という言葉がとても印象に残りました。ほかの何にも惑わされない、スノーボードに対する強い思いをもっていることが伝わってきました。これからも世界を舞台に大活躍する村瀬姉妹から目が離せませんね。

平成28年度 家庭市民教育啓発運動「決めて、守ろう!〔我が家のルール〕」優良賞作品

優良賞

野口　珠夢（平成二十八年度　三里小学校　6年）

我が家のルール「使ったら」

私の家では、トイレを使ったら、必ず、トイレをみがいています。汚れていても、いなくても使ったらみがくという事をして、次、使う人の事も考えながらみがくと、もっときれいにしようと思い、さらにきれいになります。

私は、きれいになったトイレを見ると、「きもちがいいなぁ」といつも思います。

このルールは、一人一人の心があたたかくなって、とてもきもちが良くなる、とても良いルールだと思う。

優良賞

久世　晃輔（平成二十八年度　黒野小学校　6年）

我が家のルール「玄関は美しく」

ぼくの家では、"玄関は美しく"というルールをつくって取り組んでいます。

初めは、ルールというよりも、母が、「くつをそろえてね。」と言ったことから始まりました。でも母が呼びかけをしても、自分のくつしかそろえませんでした。それを見た母は、「それじゃいかんよ。目的は、玄関を美しくすることやよ。」と言いました。ぼくも「たしかに」と思い、他の人のくつもそろえることが出来ました。それが弟二人にも広まって、やがて我が家のルールになりました。

このルールで良かったと思うことは、くつをそろえるのがあたり前になって、学校のトイレのスリッパがそろっていなかったらそろえられるようになったことです。

これからも人の役に立つ事を考えて、ふだんに生かしていきたいです。

優良賞

田下　ひかり（平成二十八年度　則武小学校　6年）

我が家のルール「一日の出来事を家族ノートに書こう」

私の家族は、家族ノートというノートを作りました。わけは、家族どうしで、ふだん人に言えないこと、今日何があったかなど、言葉では言えないのでノートにしました。

私は、お父さん、お母さんにおうえんの言葉やなやみ事を書いています。そうしたら次の日には、へんじがかえってきます。私は、これを楽しみに、忘れることなく一日1ページ日記を書いています。

たまに、絵をかいて、気持ちをより分かりやすく伝えています。そうしたら「絵が、小さいころよりうまくなったね♥」などのへんじがかえってきます。なので、このことをきっかけに毎日、家族ノートにお母さんとお父さんにうれしさの言葉を今も書いています。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。"家族でふれあう時間を大切にしましょう!"

中央青少年会館　講座レポート!

親子で体験講座（小中学生と保護者）

4/30（日）親子でチャレンジ!金華山登山

金華山サポーターズの先生のお話から、金華山の自然環境や岐阜城の歴史など、たくさんのことを学びました。下山してから、どんぐりでコマを作りました。

達目洞自然の会の方から、貴重な植物のヒメコウホネのことや田植えの仕方を学びました。田植えも泥んこ遊びもふだんできない体験で、楽しかったです!

6/18（日）親子でチャレンジ!達目洞で田植え

地域貢献スキルアップ講座（対象：中学生・高校生）

5/7（日）FC岐阜を全緑サポート!おもてなし集団「グリーンズ」と

グリーンズのみなさんから学んだ「おもてなし」の心で、来場者のみなさんのイスを丁寧にふくなどの活動をしました。

会話を楽しみながら、高齢者の方と一緒にパンケーキを作りました。昔の学校や岐阜の様子、岐阜空襲の話などを聞くことができました。高齢者のみなさんはとても元気で、私のほうが元気をもらいました。

5/28（日）新しい世界が広がる!高齢者との交流

編集後記

「情けは人のためならず」という言葉を、「優しくすることはその人を甘やかすことになるから、その人のためにはならないよ」という意味に誤解している人が多いようです。本当の意味は、「人に優しくすることは、めぐりめぐって自分のためになる」という意味です。優しい思いをもって人に接すると、周りの人はもちろんのこと、自分も気持ちよく毎日をすごすことができます。みなさんも「誰かのため」と難しく考えずに、「自分のため」に、ボランティア活動などに参加してみてはどうでしょうか。

第48号　平成29年7月15日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会
中央青少年会館
〒500-8813　岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢！活かそう力！

小中学生のための地域情報発信誌

egg（えがお げんき ぎふっ子）エッグ

岐阜市少年の主張大会2017
6月24日(土)メディアコスモス

家庭や学校生活のこと、社会問題などについて、中学生らしい発想で表現力豊かに主張することができました!

この地からこの力

プロスノーボーダー
国際大会「ワールド ルーキー ファイナル」総合優勝 2連覇!
村瀬　心椛さん（岐阜西中学校1年生）
全日本スノーボード選手権大会　一般女子の部 準優勝!
村瀬　由徠さん（合渡小学校5年生）

地域で輝く小中高生

地域を自分たちの手で守る!

第50回 岐阜市水防連合演習
5月21日(日)長良川右岸

信長公 岐阜入城・岐阜命名 450年!!

特集

信長公450プロジェクト

egg マスコットキャラクター いのくっち

egg のホームページにアクセスしよう！
デジタル egg　検索

岐阜市ホームページ　http://www.city.gifu.lg.jp/

vol.48
2017.夏号

岐阜市発 情報発信誌

発行　岐阜市教育委員会 中央青少年会館